

2022年7月の報告

原発いらん、 山口ネットウラウラ



海は
東電のしつなほ

〒410号

次の集り

2022年8月14日(日) 13:30
場所 周南市役所シビック交流室6

5月27日付で祝島島民の会が中電に送った
文書(6月の報告のP①〜P③)について、中電か
ら返信がありました。(7月19日付で)

その内容は、

「柳井は簡易裁判所へ民事調停申し
立て」を行うので、話し合いにたじてほしい
と言おうものです。

お「民事調停」とは両者の言い分を調停
委員がそれぞれ聞き取り、調停案を
提示。その上で不服となれば裁判へと進む
ものです。

○小中さんのコメント

今まで「ボロリング調査」については祝島の漁業
権を無視して進めて来た中電だが、山口県出
身の齋藤新社長になり、祝島島民の会の
意見を聞く姿勢に一転した背景には、山口県
民の上層原発計画に対する反対の声が強いの
こと。そして二井関成元知事による「もう一度上層
原発が必要かどうか」を、村岡知事に判断して
もらうたい」という発言。
また国葬問題など、国民不在の力による政治
から信頼される政治へ変わろうとしていること
があるのではないかと感じています。

7月4日、中国電力の齋藤新社長は、上関町を訪れ、
上関原発計画について「必要なら電源なのだからやめて
いく」と伝えた。

代表者 小中進
〒742-1513 山口県熊毛郡
日布施町麻郷2208
TEL, FAX. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵) 01590-5-27469
口座名「原発いらん/山口ネット」
作製・印刷・発送
周防灘の自然を守る会
三浦 翠 計

フランスでは、猛暑
ロ-ス
で川の水温が上がり
原子炉を冷却で、
停止に。
SCIENCE '22.7.31

上関原発を建てさせない
山口大集会2023
2023.3.18(土)
山口市維新公園ビッグシェル
3.11黙禱集会 14:30~
中電上関事務所前
◎7/25の県民連絡会で決り
ました。

おへんとう、水筒、ぼうし、手袋を
忘れなさい。
才3回
**田の浦ピクニック &
ビーチクリーン**
9月15日(木) 11時~2時
(雨天のときは29日(木)に)
申し込み先 原 真紀 070-5309-1032
河本 文江 070-8063-4785

7月23日。田の浦ピクニック&ビーチクリーンのこと。
好天に恵まれ、当日の参加者は27人とやぎのモモコ。
そのうち子ども9人とにぎやかでした。
年齢層も3才から80才台まで。東広島、広島周防
大島、日布施、平生、光、下松、周南、山口、宇部と各地
から。
田の浦から祝島の表の一軒一軒がぼんやり見えるほ
どに空気が澄んで海はなぞ。夏雲の姿も美しく、とり
囲む山の緑もあざやか。
「これぞ田の浦、」「みなさんようこそ、」というような
日でした。
早速子供たちは水着に着替えて海へ。シュイケル、水中
のバム、ライフジャケットと装備満点の子どもたちらし。
大人たちは子どもたちの歓声につつまれながらのビーチ
クリーン。熱心家だった仮橋の右側もきれいになりました。
子どもたちのためにと、大島のMさんとYさんが「集いの場」
からテントを担ぎ下ろして浜に設置。

田ノ浦ピクニック & ビーチクリーンに参加して

今回夫婦で参加しました。初めての参加でまた初めての田ノ浦でした。

大人15人、子供9人、ヤギさん1頭の沢山の参加でみんなパワーがみなぎっていてとても楽しく過ごすことができました。

先ず、蚊に刺されながら駐車場から田ノ浦ビーチまで移動しましたが途中の山道の異様な空間に驚きました。両サイドを中国電力が設置した足場パイプとフェンスに挟まれ、ところどころに「中国電力の私有地につき立ち入り禁止」「監視中」の看板が貼られている。途中で作業員用の仮設トイレと自販機がある。ビーチ付近には高音の警報音のような音を発する不気味な機械が据え付けてある(後で調べたら、憐ソニックという会社製のドプラソーダというもので大気境界層の風向・風速・乱流・温度・湿度成層等の分布を観測する装置らしい)。

但し、皆さんで建てられた団結小屋がありほっとしました。団結小屋はがっちりとしたログハウスで太陽光発電付き、素晴らしいです。ここまで築かれた皆さんに感謝感謝です。

午前中にゴミ集めをして、自己紹介。子供たちもしっかり自己紹介ができました。それから楽しく弁当をいただき、海水浴。子供たちはシュノーケルで泳ぎ魚と戯れていました。また、ヤギのモモちゃんとも海水をあげたりして遊んでもらいました。

私たちもしっかり遊んでもらいパワーをもらいました。

それからまたゴミ集め。前回からまだ2カ月しか経過していないのに大量のゴミがまた流れ着いていました(今回45Lゴミ袋20袋)。このビーチだけでこれだけのゴミがあるのだから世界中にはゴミが一体どれくらい捨ててあるのだろうかと思慮すると恐ろしくなります。

田ノ浦は砂浜も海水もとてもきれいで、また正面に祝島を望み風光明媚なところです。私が仕事で行っていたベネズエラのカリブ海沿岸の田舎の浜を思い出しました。そして自分の孫やこの子達のためにもここに絶対に原発を建てさせてはいけないまたこの海を守らなければいけないと思いました。

仕事の関係でネットワークの例会にも行事にも長い間参加していませんでしたが、これからもできるだけ参加できるように心掛けたいと思います。皆さん、ありがとうございました。

周南市 山本

7月13日、東電元経営陣に13兆円賠償命令、東京地裁判決。

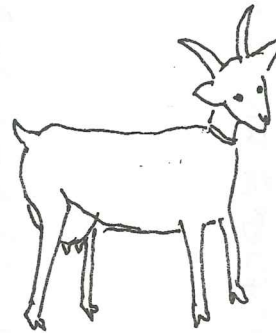
77シマカーの事故をめぐり東電経営陣5人が津波対策を怠り、会社に損害を子えたとして、総額22兆円を東電へ賠償するよう株主が求めた訴訟の判決で朝倉佳秀裁判長は、この内4人に13兆3210億円の支払いを命じる判決を出した。旧経営陣には「安全意識や責任感が根本的に欠如していた」と。原発事故で経営陣の責任を認めた初め2の判決。

7/22 原告が東電に13兆円賠償、差し押さえ要請。 7/27 旧経営陣控訴



朝倉佳秀裁判長(54歳) 裁判官として初めて77シマカーの現地視察。

O ネットワーク初期からの会員の山本さんに今回の感想文を書いてもうりました。



期待。だんくきれいになつてほしいのだけど。
9月のビーチクリーンの時はどうなのかなと
たことになりす。
これで中電の仮橋の下をのぞいて浜全体に手が届い
たことになりす。
食後は子どもたちと水かけっこをしたりとモモちゃん。
ヤギのモモちゃんも海水をパチャパチャとためて...
20人近い大人が昼食をはさんで2時間以上働いたのが、
浜全体のゴミを45L入りのゴミ袋に20個くらい束めること
ができました。

〇 終、2. 祝島を脊にハチリ! これから2020の袋を運び上げ、真紀さんの軽トラに。



● 例会の報告(7月10日)

○ 参加地域 東広島市、光、下松、周南、宇部市。

● 小中代表は、7月10日新型コロナウイルスに感染。20日陽性が判明。25日療養終了となりましたが、後遺障害による体調不良が続いております。感染対策をしても感染するものです。

① 7月10日、小中さんの「上原原発反対」の立ちが14周年を迎え、44回になりました。

● 44回も毎朝々々、上原原発反対の旗を掲げ立ち続けることは本当にすごいです。

● 今回は、コロナのことを考え、この朝皆さんに呼びのけて集つてもらおうとはしなかったそうだが、近くに住まれる方が入ったことにより下されたそうです。

② 現地のこと。

上岡町長の柏原重海氏は、8月末まで入院の見込み。副長町が代行を務める。

③ 7月23日に「田の浦へ泳ぎに行こう」お掃除しながら楽しもう。をします。ご参加下さい。また友人知人にも呼びかけて下さい。次回は9月です。テーマを考え下さい。

④ 宇部からの報告ー浜野さんより。

8月1日に公報を出します。今回は小出裕章さんの講演の内容がメインです。5人の方の感想文を載せます。柳井地域の会の中川さんにも書いてもらいました。

カンパもいただいたので、60部刷って配りたいと思っております。小出裕章さんの講演の内容を広く多くの人に知ってもらうことを目的にやっていく。

⑤ EUの議会が「原発と天然ガスをタフソニー(持続可能で、環境をこわさないエネルギー)に加えると決議した。

意見は割れている。ドイツなどは原発は廃止すると決めている。一方フランスは原発をすすめる。

7/24

(日) 老朽「原発・美浜3」ロケットの可否、
現地全国集会・福井県美浜町官談
4/井天崎

⑥ 6月 になつてきたに電力逼迫のニュースが出て来た。するとすぐに「原発を稼働すべき」という声があるが、電力逼迫の理由は別のところにある。

送電網の負荷弱く、送電網の力法にもっと力を入れるべきなど。

「原子力業界」(毛国も)の地震多発国日本で、まだ原発を動かすことばかりを考えている。

それは、業界トップだけではなく、労働組合も同調している。

「2023年基幹労連の政策・ガイダンス版」では

「原子力なくして日本のエネルギー問題は解決しない」

「高い電力料金の低廉化に向けて、安全が確認された

原子力発電所の再稼働を国の責任のもと着実に実行する」などと書かれていて、フクシマの事故のことなど忘れ去られている。原発の電気が高いのは常識。

安全が確認された原発、存在しない、原子力規制庁だって「安全だ」と言っている」と明言している。

現在「原発の事故は起る」といつのが大前提になっている。だから起った時は、自治体の責任を避難させ

ぬ、となつている。自治体の責任などは、つまり住民の責任というのだ。

これほど私たちにはバカにされているのだ。

しかし、3.11前とは明らかに違って、先日の「原発の判決もそうだが、「原発はダメ」という判決も出るようになった。

うまく行かない判決もあるが、一生懸命やってみる道をいつか行くしかない。

原子力カムラ側もかなり直りつめられていると思う。

「原発裁判の用は10年間、上岡の用は40年、ひるまずにがんばることに。」

⑦ 6月10日の最高裁の判決について。

「対策をとつてもダメだったろうから国に責任はない」とは何と云うかどい理屈か。「無理が通れば道理ひっこむ」とはこのこと。

最高裁の裁判も政府の責任に入らない判決を

③

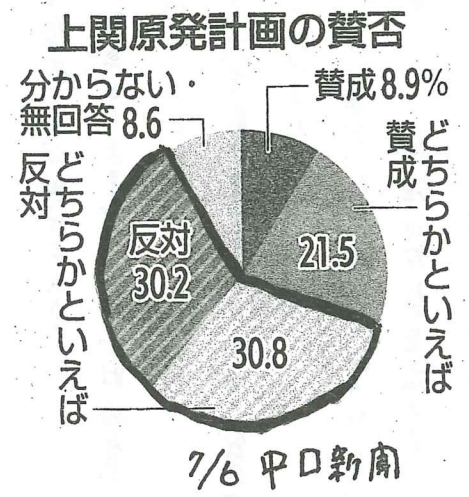
書いたら降格されたりするのだからか。

反対意見を言いた三浦 中裁判官はどうなるのだから。

次の最高裁の裁判官審査の時、三浦 中裁判官には
 (X) とつけないようにしよう。

⑧ 参院選を前に、中国新聞が行った世論調査。

- 反対が最も高いのは29歳以下の83.8%
- 賛成が多いのは40代の45.6%
- 自民党支持層で51.8%が反対



⑨ 二井岡式元山口県知事の発言。6月28日中国新聞。「上関原発訴訟敗訴表明4年」より。

「もう一度、上関原発が必要かどうかを知事に判断してもらいたい」。01年、建設計画に同意した二井岡成元知事(79)は指摘する。当時、安全確保を前提にした21項目の意見を国に出し、国は電源開発基本計画に組み入れた。「国は『誠心誠意対応する』と答えたのに福島で事故が起きた。安全が確保できなかったのだから、私の時代の手続きは良かったん、ご破算にするべきだ」と話す。

⑩ 6月28日。中国電力株主総会。

- ・山口からは小中さんと3人で行った。
- ・エ里さんは株主として、核からエネルギーを取り出すことはダメ」という発言をした。
- ・上関の埋立免許についての明言はなかった。
- ・高根原発についで、三井原さんが「原発のそばに病院があるのに、事故が起きたらどうするの」と質問したら、避難はさせばいいと密封する。陽圧にする。その工事は国がすると答えたそうだった。(人を悩んだと思えるんだ)

○フクシマでは、^{ノッパ}尾村、大熊町の一部が避難指示解除されたが、首尾村が4軒9人、大熊町40軒80人しか帰っていない。子供をつれて帰る人は少ない。

今大事なものは、フクシマの現状を多くの人に知らせること。
 上関に「原発ができたならこの現状をまた私たちが背負わされることになる。」

甲状腺ガンが多発して、多くの若者を苦しめ、その将来の夢も奪っている。
 避難指示が解除されたも戻らない人々には、住宅手当も打ち切られ、お金の優遇措置はもう上げられるまことに棄民だ。

○ヨウ素(剤)が配られるはかった。
 ○トリチウム汚染水を海に流すとはけいがない。カドリンという細胞と細胞をつなぐものが切断される。

○先日柳井で地震があったが、上関だぞという地震があるのわがわがない。

裁判のこと

伊方原発運転差止め裁判(本訴16回)
 2022年9月15日(木)14時
 岩国支部

●7月21日の裁判の報告は山田 誠さんです。↓⑤

会計報告

2022年7月の会計報告-原発いらい、山口ネット

5月の報告の残高	338,647
収入 会費とカンパ	11,000
支出 5月の報告作製・送料	30,120
6月	27,085
6月の例会会場費	1,400
7月	1,400
振込通知料	440
	60,445
差引残高	289,202

○会費とカンパ11000の振込みとありかとうございしました。
 ○年会費は2000円です。
 (郵)01590-5-27469

重要土地規制法廃止へのパブコメを出さず。しめ切りは8月24日です。
 憲法(法)をいっけい今日も法廃止です。見ずしてはいけません。

伊方原発は避難問題一つとっても再稼働してはならない

7月21日、山口地裁岩国支部において開催、今回は準備書面27を提出、過酷事故が起こった時、避難が極めて困難あるいは不可能であるということを準備書面に沿って口頭で弁論を行いました。

* 原告適格問題

本訴原告の住所地は概ね31kmから140kmに住んでいるが福島第一原発事故やチェルノブイリ原発事故における避難区域を踏まえると放射性物質放出事故が起こった場合に避難を要する地域になると考えられます。

福島原発事故の場合、避難区域指定12市町村で県内だけでも避難人数はこれまで14万6520人に達しています。これ以外にもブルーム襲来により100kmも離れた土地に住む人たちが自主避難をしており損害賠償紛争審査会の対象地域になっています。現状はこれ以外にも自主避難された方は多数存在。チェルノブイリ原発事故の場合はさらに広く放射性物質が飛散。300km以内に極めて濃度が高い地域が出現、移住決定された地域は原発から280km離れた地域にも及んでいます。過去の判例でも高速増殖炉「もんじゅ」原子炉設置許可処分無効裁判では58km、川内原発設置許可無効裁判では250km、大飯原発設置許可無効裁判では120kmまで住む住民に原告適格を認めました。

* 避難計画

原子力災害対策特別措置法は避難計画について都道府県・市町村が策定しなければならないが、山口県の避難計画は一応形だけはつくられているが、極めて不十分です。例えば最も中心的な課題となるべき住民の移動手段についてなら示されていません。全体として項目だけを形式的に列挙したほとんど中身の無い計画です。さらに市町村レベルにおいては地震などの複合災害を考慮することなく、さらに中身の無い避難計画しか立てられていません。しかも30km範囲以内だけでそれ以外は防災計画そのものが存在しません。

* 立地審査の放棄

福島原発事故の後、原子力規制委員会が新たに設置され新規規制基準が定められましたが避難計画等を審査する立地審査は組み入れられませんでした。組み入れない理由は簡単、避難を考慮すると既存の原発はことごとく立地不適になるからです。

* 最近の司法判断とIAEA深層防護思想

昨年の3月18日に水戸地方裁判所で日本原子力発電株式会社に対し、避難計画の不備を理由に東海第二原発を運転しないよう命じる判決が裁判史上初めて出ています。この裁判では国際原子力機関（IAEA）の5層深層防護についても言及。5層とは、1.異常の発生防止、2.異常の拡大防止、3.影響緩和、4.過酷事故対策、5.防災（避難）対策の5つを満足させないと運転してはならないという指針ですが、日本は3番目までしか考慮していません。今後各地の裁判でも避難問題は取り上げられるでしょう。

識者 評論



生まれ、専門は哲学・思想史。著書に「戦争論」「理性の探究」など。東京外国語大学名誉教授 西谷修

安倍政権とは何だったのか

行使に歯止めが失われ、政治は底板が抜けて液状化してしまっただけ。アベノミクスも、安全保障法制にしても、この政治手法が可能に成り立たないので、立法院のチェック機能も働かない。こうした構造は周囲があつてこそだ。官僚たちは節度の無さに逆を守られて好きにできるのだから、この「自発的離脱」というもので、森友学園問題や村度して公文書の改ざんを始めた。自ら指示しているわけでもないから、安倍氏は無垢のまま、悪くないとなる。政治家も「安倍氏を許さぬ」と言っていて支え、安倍氏を批判すると「許せぬ」となる。結果、閣議決定で何でもかんでもやりこめた。権力

権力行使の歯止めなくす

「アベノミクス」と言われると、まるで安倍氏が民主主義を代表していたような話になる。「ちょっと待ってくれ」と思うが、「多大な貢献があつた」として、あつという間に閣議で、日本最高位の勲章に当たる大勲位菊花章頸飾を贈ると決定された。こうした政治プロセスは不可逆的な段階にまで進んでいる。安倍氏が退任後率いた自民党内最大派閥の安倍派の行方がどうなるかは分からない。だが、安倍氏の「遺志を継ぐ」という政治勢力がいる限り、岸田文雄首相は首相で居続けるために、安倍派の議員を取り込もうとするだろう。自らの政治理念があつても首相はこの道を進まざるを得ないのだ。

首相は記者会見で「偉大なりターを失った。思いを受け継ぎ、憲法改正など果たせなかつた難題に取り組み」と言つた。「つくった人は尊へ、その悲願を達成していく」と。しかし、それは民主政治ではなく、それは宗教だ。安倍政治とは何だったのかと問うと自らがひつぎに入られ、花に飾られふたに覆われていく。しかも法的根拠もない国葬までやつて、ただえようとする。これでは安倍氏の神格化だ。安倍的な政治がこのまま、あるべき日本の政治の姿になつていく。メディアは、ここで大きな役割を果たしている。自覚しなければならぬ。安倍氏は歴史修正主義の政治家として登場した。「昔のことでは知らない」「いつまで謝り続けるのか」という風潮が、物事の理解の仕方として出てきている。そうなる歴史は意味が無いことになり、価値がとがれ、この段階で修正主義の「半分勝利」となる。その先に今度のような事件が起き、安倍政治が顛覆されることになれば、自らの非業の死によつて修正は成し遂げられたことになる。皮肉な言ひ方になるが、歴史修正主義に勝利への道を開いたことが、安倍氏最大の功績なのかもしれない。

8月5日(金) 14:00~16:30 広島市RCC文化センター7F 「戦争とヒバクの今を考える」

8月6日(土) 17:30~19:30 広島市あづかり市民交流センター

■関連の新聞記事

・(6/25中口)韓国の尹大統領、原発業界に100億円超を注

注へ。前政権の脱原発政策を「はら」と非難。

・(6/25中口)太陽光発電所開発のウエスト・ホールディング「電力小売り撤退、特損15億円」

・(6/25中口)日経「ふげん燃料再処理、仏側と35億円契約。ポルトニウム13トンは仏に」

・(6/26中口)再処理事業費100億円減。約4兆4300億円の経産省認可法人、使用済燃料再処理機構を発表。

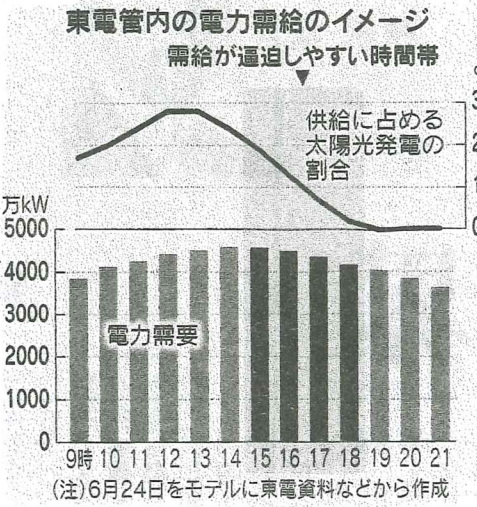
・(中口6/28)福島第一、1号機、格納容器内堆積物二つの層で存在。

・(6/27中口)電力逼迫初の注意報、政府東電管内で注意報

・(6/28中口)大飯(原発)で冷却水漏れ。稼働7月20日以下に

・(6/28中口)全漁連放出反対決議済

・(6/28中口)電力供給余力「気象による変動。東電管内注意報」



・(6/29中口)東電管内注意報を継続。電力逼迫節電3日目に

・(6/29日経)電力の予備率、冬場15%に

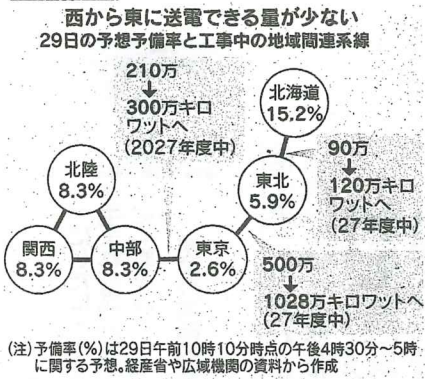
・(6/29日経)電力、太陽光・節電頼み

・(6/29九州スポーツ)電力不足は太陽光で賄える。老朽化する原発、増設は無理

・(6/30中口)東電管内4日連続の注意報

・(6/30中口)英国、日本産食品の輸入規制撤廃

・(6/30中口)原子力規制庁で不適切入札。入札する業者を側に仕様書案の作成を依頼



・(6/30日経)岸田首相G7ワシントン開幕を受けミンヘン記者会見。「最大限原子力を活用する」と

・(7/1中口)全国規模節電スタート。需給調整で中電も呼びかけ

・(7/1中口)原発交付金対象30キロ圏に拡大を。知事会、国へ防災提言案

・(7/1中口)大熊町の一部避難解除。住民帰還の呼びかけ (日経)

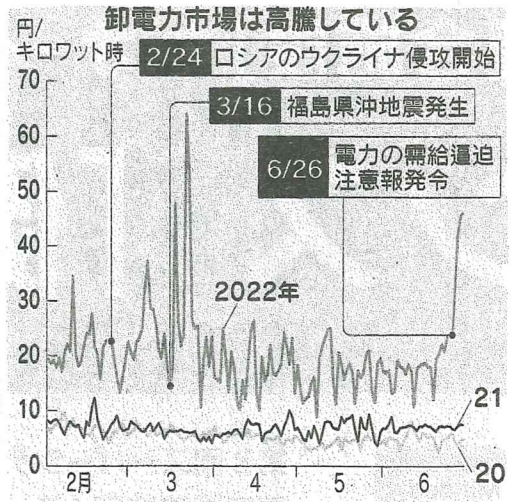


・(7/1日経)IEA(国際エネルギー機関)CO250年にゼロ
なら「原子力投資が急増」

・(7/5中口)大手電力など負担29億円減

・(7/5中口)電力自由化6年、逼迫に値上げ、見えない恩恵。公平さ、透明性の仕組み不十分

・(7/5日経)卸価格急騰、新電力に打撃。6月猛暑が3倍に。契約がまひの企業相次ぐ



・(7/5日経)経産省、次世代の原発行旅表を作成。小型原子炉とは別として検討された捨られたもの。補助金を獲得し続けるために「原子力への幻想を維持する」

・(7/3日経)再エネ投資58%増とみり。パナソニック、原料高値

・(7/4中口)大ヶ所村、放射性廃液冷却止まる。復旧8時間後漏れなし。浄水すれば大改善に

・(7/5日経)原発審査効率化。具体提案募る「規制庁新長官・仲山啓氏」

・(7/6中口)仏の電力会社再国有化方針。国による救済策

・(7/7中口)玄海4号機、13日発電再開

・(7/11日経)エネ政策、先送り限界。電力逼迫が改革迫る

(新聞記事の続き)

●(7/14中口)東電旧経営陣には兆円の賠償命令。原発事故、津波対策怠る。東京地裁判決。

東京地裁判決
長期評価には科学的信頼性があり、津波の襲来は予見できた。対策を放置した武藤氏の判断は著しく不合理だった。旧経営陣は最低限の津波対策を速やかに実施するよう指示する注意義務を怠った

↓P②

●(7/14中口)栢崎「原発リテロ対策了承」
●(7/15中口)双葉町で末日居住再開。
●(7/15中口)首相、原発9基稼働指示。冬う安定的な電力供給のため。
●(7/15日経)卸電力市場伸び悩み。価格高騰、新電力が敬遠。

●(7/15日経)電力安定へ政策総動員。火力頼み。脱炭素と両立難題。

現在、運転中の原発	
大飯3(関西)、伊方3(四国)、川内1・2、玄海4※(九州)	
現在は停止中	
7月17日発電開始予定	大飯4(関西)
7月下旬以降	高浜3(関西)
8月12日	美浜3(関西)
10月下旬	高浜4(関西)
2023年1月20日	玄海3(九州)
※玄海4は9月に停止予定	

●(7/16中口)欧州の火力大手長崎工場を断念。デンマークの「バスタス」

●(7/16日経)「9基でも需給厳しく」電事連会長、原発再稼働で。

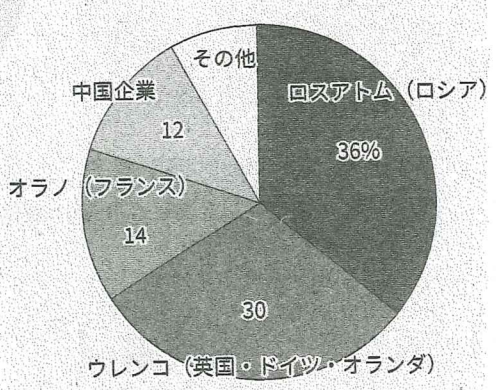
●(7/18日経)シマンマー国軍総司令官、原発の技術協力ロシアに要請中。

●(7/18日経)電力大手資金確保急ぐ。資源高円安で支払い増。

●(7/19日経)原発燃料脱ロシア難航。米、ウラン調達2割依存。

核分裂しやすいウラン235は天然のウラン鉱石には、0.7%しか含まれない。これを3〜5%に濃縮して原発の燃料にする。

ウラン濃縮はロシア企業が世界最大手



(注)ロスアトムの資料より、2020年

●(7/20中口)高浜3号機、23日運転再開。

(高浜3号機は、1985年運転開始。30年経過を以て(旧)原子力規制庁が安全報告書。この10年間の度重なる不祥事やう返云。

●(7/20日経)青森の核燃料再処理工場、高レベル廃液係管タワの冷却機能が一時停止。作業員の操作ミス。(プーッとする音。)

●(7/21日経)冬の電力確保へ火力稼働。経産省、火力の基分上積み。

●(7/22日経)アフリカ「原発計画相次ぐ」。ロシア、中口が影響力。エジプト、スーダン、ケニア。

●(7/23中口)処理水海洋放出認可。原子力規制委。東電未春開始目指す。パブコメ120件寄せられた。

福島第1原発の処理水海洋放出を巡る今後の流れ

- 原子力規制委員会が東京電力の放出計画を認可
- 福島県と大熊町、双葉町が海底トンネルなど設備着工を事前了解
- 東電が着工(2023年4月中旬の完成目標)
- 政府、東電が関係者(全国漁業協同組合連合会など)の理解得る?
- 海洋放出開始(23年春ごろの目標)

「関係者の理解なしには決して海洋放出はしないとお願いがなせぬわ、」

●(7/23中口)送電網の強化止案始まる。再エネ活用課題は費用。

●(7/23日経)原発建て替え「相定むず」首相、再稼働進め活用。

●(7/23日経)太陽光に中口依存リスク。発電パネルの世界シェア8割。

●(7/24中口)「処理水」放出案認下。責任取れる判断否のり。
●(7/26中口)電気代がうらた上昇。9月960円。 ↓P⑧

●(7/26日経)脱炭素、リソースキنگ。欧州が進む「公正な移行」日本は政策構想に欠く。国内の石油産業者が約30万人。自動車産業の雇用約100万人。英国では洋上風力の雇用7万人。

●(7/26日経)送配電網料金、年4200億円増。電気料金金に上積みされる。

●(7/26日経)重要土地利甲規制法。対象となる土地に原子力関係の施設など追加する基本方針案を了。9月に全面施行の予定。

●(7/28中口)各紙(脱炭素への兆円)。年内に再稼働。兼生田氏が担当相業務。原発再稼働。来月にも具体案。

●(7/28日経)食品輸入規制、全て撤廃。インドネシア。首相会談で。

●(7/29中口)太陽光南産、トラール防止。住民への説明義務化。

●(8/3中口)処理水放出設備着工へ福島第一トンネルなど。県、町了解。

島根原発に関する記事

●(6/25中口)島根原発2号機「改善活動適切」中電が安全報告書。この10年間の度重なる不祥事やう返云。

●(6/29日経)中電新社長滝本氏「島根原発を最大限活用」。

●(6/30中口)島根3号機「審査再開」。

（新聞記事のつづき。島根原発に関する記事）
 ・（7/19中口）原発防災中電が「協力」。島根、鳥取県と協定。費用負担も明記。

島根原発の原子力防災協力協定の骨子

- ・島根県、鳥取県、中国電力が相互に連携、協力を図る
- ・中電は避難時の放射線検査や緊急時モニタリング、要支援者の避難、避難所運営などに誠意をもって協力する。平時から要員や資機材について情報共有する
- ・中電は鳥取県の原子力防災経費のうち、国の財政措置がない部分を負担する

地域の関連記事

- ・（7/15中口）原子力災害への拠点。広島大新設、被曝医療、人材も育成。「放射線災害医療総合支援センター」の拠点施設を広島大施設キャンパス（南区）に。
- ・（7/15日経）広島市が気候非常事態宣言。
- ・（7/15中口）上関小児童、名産海苔の作り、シール、クッキーを手作り。地元海苔の豊産が児童が授業中。
- ・（7/16中口）中電社長、記者会見で、冬に上関で火力燃料緊急調達。
- ・（7/17中口）上関上関イベント、海の環境問題考えよう。漁師の創作劇や漁具展示など。「上関をイチャカロ」

重要土地規制法案

1107"コメ 8月24日
 是非。憲法で。廃案にしろ。とだけでも。

本の紹介
 「権利に基づく闘い」
 熊本一規著。
 執筆「上関原発と漁業権」
 緑風出版 2700円税



処理水放出案認可

東京電力福島第一原発の処理水海洋放出計画を原子力規制委員会が認可した。設備の安全性や緊急時の対応に問題がないことを理由に挙げている。認可を受け、東電は来春をめどに放出開始を目指す。放射性物質を含む処理水を海に流すことには賛成できない。

責任取れる判断なのか

高濃度の放射性物質を含む汚染水を、多核種除去設備（ALPS）で浄化したものが処理水

である。計画では国基準値の40分の1未満になるよう大量の海水で薄め、海底トンネルを通して沖合1キロに放出する。ただALPSでトリチウムは除去できない。政府は「原発の排水にも含まれている物質」と危険性の低さを強調するが、体内に蓄積される内部被曝の影響まで否定できるものではない。

不安が拭えない根本に、これまでの不誠実な対応のツケがある。このことを政府や東電はまず自覚せねばならない。「関係者の理解なしに海洋放出は行わない」と約束している。ならば漁業者の反対を押し切って計画を強行することが許されるはずもなからう。宮城県村井嘉浩知事が規制委員の認可に対し「海洋放出以外の処分方法の継続検討を求めたい」としたのももっともだ。東電は周辺地域にさらに負担をかけるとして、原発敷地外での保管には消極的という。だからといって海洋放出が許される理由にはならない。新たな敷地探しや洋上保管なども選択肢として検討すべきではないか。

イベント情報
 ・（7/24中口）環境省と広島が対話フォーラム。「福島除染土壌処分方法を議論」
 ・（7/28中口）長府バイオマス発電所、下関で着工。25年度転開始予定。7/24中口。木質ペレットはすべて輸入する
 ・（7/28中口）東ソー（同南東）石炭火力ベース廃止へ。6基のうち一基。バイオマス混焼に転換。
 ・（7/29中口）上関砂浜クリーン大作戦。8月6日。上関をイチャカロプロジェクト主催。
 ・（7/29中口）コトコトコ対面での集会は中止になりまし。

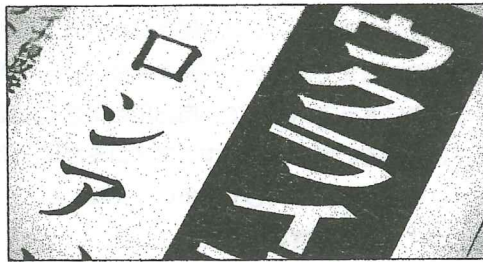
イベント	日時	場所	備考
原発いん山口ネットワーク例会	8月4日(日) 13:30	別府駅前 北7次流堂6	小中 0820-55-6291
総バカリ行動	8月19日(金)	各地で	
朝鮮学校に補助金復活を 県庁前デモに申し入れ	8月24日(水)	山口県庁	
安保法制違憲裁判控訴審	8月24日(水) 14:00~	広島高裁	
ウクライナ情勢から見える 戦争のない平和な社会 永山茂樹さん(東海大教授)	8月27日(土) 12:30~ ZOOMに。	宇部市文化会館 大ホール	医療生活協同組合、外
東京シネクラブ "ワン・セカト。永遠の247L-4" 中国映画	8月27日(土) 10:30~, 14:00~, 19:00~	山口県教育会館 1800円	TEL.083-928-2689
311子ども甲状腺がん裁判	9月7日(水)	東京地裁	
子ども脱被ばく裁判	9月12日(日)	仙台高裁	
東電旧経営陣3人の控訴審判決	2023年 1月18日(水)		



2022.7.24

目からウロコ “ウクライナ侵攻” 戦争報道の真実とは？

ダイヤモンド・オンライン
ウクライナ侵攻 5 カ月目…
日本人は
「戦争報道のインチキさ」
今こそ検証を
窪田順生：ノンフィクションライター
2022.6.30



写真はイメージです Photo:PIXTA

マスコミも「ウクライナ侵攻」報道にお疲れ？

ロシアによるウクライナ侵攻が5カ月目に突入した。

欧米諸国では「支援疲れ」が見えてきたという。当初は「国際社会で経済制裁をしてプーチンを追いつめろ！」と威勢のいいことを言っていたが、思っていたほど効果が出ていない。むしろ、これまで散々世話になっていたロシアの天然資源が入らなくなって、自分たちの首を締めることになっている。

そんな長期化による「疲れ」は日本のマスコミにも見て取れる。

侵攻直後は「ウクライナと共に！」と芸能人たちが呼びかけ、ワイドショーも毎日のように戦況を紹介し、スタジオで「どうすればロシア国民を目覚めさせられるか」なんて激論を交わしていた。今はニュース

で触れる程度で、猛暑だ！値上げだ！という話に多くの時間を費やしている。

作り手側が飽きてしまったのか、それとも視聴者が飽きて数字が稼げなくなったのかは定かではないが、「打倒プーチン！」と大騒ぎをしていたことがうそだったかのように、ウクライナ問題を扱うテンションが露骨に落ちてきているのだ。

そこでマスコミの皆さんに提案だが、今のクールダウンした世論にピッタリな、日本にとっても非常に意義のある企画をされてみてはいかがだろうか。。

それは、「戦争報道」の検証である。

「戦場の霧」という言葉があるように、世界では戦争中に飛び交うニュースというのは、さまざまな政治的思惑がのっけられたプロパガンダだということが常識だ。それは今回のウクライナ戦争も然り。この4カ月を振り返ってみると、うさんくさいニュースが山ほどあった。それを総ざらいして、なぜあんな眉唾な話に乗かってしまったのかということをしっかり自己検証すれば、「マスゴミ」などと何かと批判されることの多いみなさんの株もグーンと上がるのではないか。

この4カ月の間にどんなプロパガンダが流れていたか

では、どんなニュースをマスコミが総ざらいすれば、いいだろうか。

例えばわかりやすいのは、侵攻直後に耳にタコがでるほど報じられ、今も盛んに叫ばれている「ロシアは国際社会で孤立してもうおしまいだ！」という方向のニュースなんてどうだろう。実際、こんなニュース記事もあった。

●国連非難決議 ロシアの孤立が明白になった（読売新聞3月4日）

●結束強めれば孤立も ロシアと国際社会の間で揺れ動く中国の苦悩（毎日新聞3月11日）

このニュースを真に受けたピュアな日本国民は狂喜乱舞した。ロシアは国際社会から追放され、ズブズブの関係だった中国も距離を置き始めている。あとは、ロシア国民が「洗脳」から目覚めて、プーチンの首を取ってくれば世界に平和が訪れる――。

だが、残念ながら、これは典型的な戦争プロパガンダだ。西側諸国と西側にくっついた日本の立場的に「こうだったらうれしいな」という願望が多分に盛り込まれた、かなりバイアスのかかった偏向報道なのだ。

それがうかえるのが、6月15日から18日にかけて、ロシアのサンクトペテルブルクで開催された、第25回サンクトペテルブルク国際経済フォーラムである。

これは例年140カ国ほどの国が参加しているが、今年は欧米諸国の政府要人は軒並み欠席しており、米政府などは他国にボイコットを呼びかけている。今やロシアは世界中の人々から批判される「悪の帝国」であり、国際社会で孤立無縁の状態なのだから当然だと思われるだろうが、なんと今年も127カ国が出席した。

また、その最中にプーチン大統領は今のG7（イギリス、アメリカ、フランス、イタリア、カナダ、日本、ドイツ）を中心とした古い世界秩序は崩壊寸前だと主張し、新興国と発展途上国同士の連携を呼びかけている。ロシアが唱えている「新しいG8」（中国、インド、ロシア、インドネシア、ブラジル、トルコ、メキシコ、イラン）のことを指しているのは明らかであり、そのスピーチの場では盟友・習近平氏のビデオメッセージが公開されていた。

ちなみに6月28日、ロシアが入っているBRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）の枠組みにイランが正式に加盟を申請した。また、ロシア外務省によれば、アルゼンチンも加盟を申請しているという。

3カ月前、マスコミが「国際社会で孤立している」と報じていたロシアに、なぜ127もの国が集まっているのか。なぜイランやアルゼンチンのように経済的連携を強化しようという国まで現れているのか。ここにきて何かロシアの国際的なイメージが急速にアップするようなことがあったのか――。

いや、そんなイメージアップもダウンもない。そもそも3月から実は国際社会でのロシアの評価はこんなものなのだ。

つまり、あの当時、マスコミが大騒ぎしていた「国際社会で孤立」や「中国とギクシャク」という話の方がインチキで、アメリカやEUの視点に基づいた「こうなったらいいのに」という願望を多分に含んだ戦争プロパガンダだったのだ。

「日本が世界の中心」という考えが日本人の認識をゆがめる

というと、「そりゃ世界には親ロシアの国もあるだろうが、国際社会で主導権があるのはやはりアメリカやEUなんだからロシアが孤立していることは間違いない」と口を尖らせて反論する人もいるだろう。しかし、実はそういう「国際社会」の認識こそが、西側諸国のプロパガンダの賜物である。

「国際社会」の代表みたいな顔をしている西側諸国は、実は世界の人口の15%しか占めていない。一方、ロシアと中国を含めたBRICSは5カ国だけで人口30億人以上（世界人口の38%以上）を擁して、経済規模も世界のGDPの約24%を占めている。

つまり、ロシアはウクライナ侵攻によって、人類の1割強に満たない西側諸国と対立を深めて、これらの国の集まりの中で孤立をしているだけだ。それ以外の大多数の国とは今までも、そしてこれからも普通に「連帯」をしているのだ。

今年3月の段階でも、ちょっと真剣に調べれば、こういう客観的な事実がすぐに把握できる。しかし、我々日本国内にニュースで伝えられる時は、なぜか「ロシアは国際社会で孤立してギブアップ寸前」という話に置き換わる。

なぜこうになってしまうのかというと、我々が日本人だからだ。

日本人が働く日本のマスコミは、どうしても「日本が世界の中心」という考えに基づいた自国ファーストの情報を流す。そして、「数字」が欲しいので、日本人の読者や視聴者が「いい気分」になる話を扱いがちになる。西側についた日本が世界の中心だと視聴者や読者に知らしめるには、ロシアという国がいかに狂っていて、非人道的な連中なのか、とおとしめるのが手っ取り早い。ナショナリズムが報道の客観性をゆがめてしまっているのだ。

ビジネスでプロパガンダを流したことを反省すべき

今回、ロシアとウクライナという遠く離れた異国同士の間ではあるが、ロシアの延長戦上には中国の存在があるので、日本人のナショナリズムが強烈に刺激された。これがさらに事態を悪化させた。

テレビや新聞は、恐怖や憎悪をあおった方が視聴率や部数が増えることがわかっている。つまり、ロシアと中国をセットにして、「北方領土が危ない」「台湾有事の恐れもあるぞ」なんて騒げば騒ぐほど、チャリンチャリンとカネの入るサイクルがマスコミの中でき上がってしまったのである。

かくして、日本ではこの4カ月、「ロシア=人類の敵」というかなり一方的なバイアスのかかった戦争プロパガンダ報道が流れていたというワケだ。

このあたりの構造的、組織的な問題を、マスコミの皆さんがその卓越した取材力をもって検証してくれたら、「なんだよ、記者クラブとか軽減税率とか自分たちに都合の悪い話はいつもスルーなのに、今回はちゃんとやっているじゃん」とアンチの人々からも再評価されるのではないかな。

もちろん、この検証企画は、そんなイメージアップ以外に「社会の公器」として意義もある。

このような形で「戦争のどさくさに紛れて流される報道はインチキばかり」というリテラシーを、日本国民に身に付けさせることは、「国防」や「国民の命を守る」という観点からも非常に大切なことだからだ。

もし台湾有事が勃発して、中国と日本を含めた周辺国の間に武力衝突が起きてしまった場合、日本国内ではさまざまな「戦争報道」がなされるだろう。それは当然、中国をおとしめるプロパガンダになるので、国民がそれをノーリテラシーで鵜呑みにしてしまったら、目もあてられないひどい事態が起きてしまうのだ。

例えば、ロシアのプーチン大統領に関して散々報道されたように、「習近平氏は病気で正常な判断ができない」なんてフェイクニュースや、中国軍の戦力についてかなり偏った報道が連日のように流れたらどうか。真珠湾攻撃をした時、日本ではお祭り騒ぎだったというような、調子に乗りやすい国民性を考えると、「中国も大したことはないぞ、日本もアメリカと協力して徹底的に打ちめせ」なんて好戦ムードが一気に高まるはずだ。

これが戦争プロパガンダの最も恐ろしいところだ。

プロパガンダに乗せられやすい日本人は自ら窮地に陥る

リテラシーがないと日本人は、戦争プロパガンダに乗せられて相手の戦力を過小に見積もったり、自国の軍事力を過大評価してしまう。そして、世論が暴走する。好戦的な国民の顔色をうかがう政治や自衛隊が誤った判断をして、国防の最前線にいる自衛官の皆さんに危機をもたらす恐れもあるのだ。

「そんなバカなことあるわけがないだろ」と言う人もいるが、実は80年前も同じようなことを言いながら、プロパガンダに乗せられた世論が暴走して、すさまじい数の人々が犠牲になっている。

例えば、太平洋戦争中のマスコミは盛んに、「アメリカ人は個人主義で、国に対して命を捧げる気がないのですぐに厭世ムードが漂う」と根拠ゼロの戦争プロパガンダを流していた。アメリカ軍の戦力を過小に見積もり、日本兵の強さをひたすら説いた。

当時の日本人はピュアだったので、新聞やテレビで繰り返しそんなニュースを聞かされているうちに、「そうか、日本人の根性を見れば、アメリカなど恐るに足らんのだな」と刷り込まれ、現代人からみると狂気の沙汰としか思えない精神論が広まった。

例えば、欧米の兵士たちが当たり前のようにした「投降」を、日本の兵士はしなかった。これは上官から命じられていたということもあるが、何よりも投降をすると、その情報が故郷にも届き、「あそこの家の息子は、アメリカに命乞いをした売国奴だ」などと家族までパッシングに遭うことを恐れたことも大きい。民間人も米軍から投降を呼びかけられると、集団自決した。

現代の「マスク社会」がウイルスよりも「周囲の目」を恐れた同調圧力によるもののように、戦時中の人々も「周囲の目」に非国民として映ることを恐れた同調圧力で、玉砕や自決をしていたのだ。

このほかにも、日本のマスコミは太平洋戦争中、正しい情報を伝えず、国威発揚のためのプロパガンダばかりを流して、多くの国民を死にいたらしめたケースは枚挙にいとまがない。

…という話をすると、マスコミのみなさんは決まって「軍部が怖くて逆らえなかった」みたいな被害者ヅラをする。しかし、厳しい言論弾圧をされたのは敗色濃厚になった1944年くらいからの話で、それまでは軍から命令されるまでもなく、自ら率先して、愛国美談をあおりまくっていた動かし難い事実がある。

現代のオリンピック報道と同じく、「日本人すごい」「世界が賞賛」みたいな話を盛れば盛るほど、新聞の部数が増えていった。当時を覚えている人間の多くが鬼籍に入っているため、自己正当化をして歴史を修正しているだけで、戦時中のマスコミがビジネス的なメリットから、率先して戦争に「協賛」していた事実は消すことはできないのだ。

ウクライナの「戦争報道」をしっかりと検証していけば当然、自国の戦争報道とも地続きなので、そのような過去の過ちとも向き合うことができる。

2016年、NHKスペシャルで、「そしてテレビは“戦争”を煽った」が放送された。これは、2014年のクリミア併合時、ロシアとウクライナ双方のメディアが根も葉もない報道をして、国民の憎悪をあおっていたのかということに迫った、非常に良質なドキュメンタリー番組だった。

今回もあのような形でやってみたらどうか。題して、「そして日本のマスコミはウクライナ戦争を煽った」——。賞賛間違いなしだと思うのだが、どうだろうか。

(ノンフィクションライター 窪田順生・くぼたまさき)

……

2022年7月5日作成 「アヒンサー」
(目からウロコ FC2 アヒンサー)